

# 旧石器ハテナ館だより

せんとうき

# 尖頭器



尖頭器とは、主に旧石器時代に使われた狩猟具です。

**旧石器ハテナ館**  
 (史跡田名向原遺跡)  
 旧石器時代学習館  
 神奈川県相模原市中央区  
 田名塩田 3-23-11  
 TEL 042 - 777 - 6371  
 平成 29 年 11 月 15 日  
**【第 36 号】**

## 旧石器ハテナ館まつりを開催しました！

今年で7回目を迎えた「旧石器ハテナ館まつり」は、9月16日(土)に開催されました。台風接近中のため、一部縮小しての開催となりました。例年は遺跡公園で行われる、「縄文服を着てみよう」と「古代の魚釣り体験」コーナーは館内展示室で、館内と公園を利用して行うクイズラリーも館内のみに。毎年大人気の「弓矢の射的体験」だけは、残念ながら中止となりました。楽しみに来て下さった来館者から、残念がられる声も多く聞かれました。毎年申し込みが殺到する「石蒸し料理体験」は、雨の中でテントを使用していたのですが、とても良い蒸し上がりになりました。材料を包んだ朴葉の香りが良いと、参加者の皆さんから好評でした。



石蒸し料理体験



飲食物販売

クイズラリーは、景品がなくなり、補充が必要になるほどの人気ぶりで、「縄文服を着てみよう」のコーナーでは、公園ではできない展示室の旧石器時代人の人形と撮影する方が多く、縄文ペンダントは材料が品切れ、飲食物も全て売り切れ、火おこしと魚釣りも行列が絶えないなど、どのコーナーにもぎわいました。時折激しい雨が降る中でのまつりでしたが、昨年よりも多い、約 2200 名の方にご来場いただきました。来年は、良い天気にも恵まれた中での開催となることを願いつつ…。ご来場のみなさま、ありがとうございました！



さがみん登場！



縄文ペンダント



クイズラリー



火おこし体験



縄文服を着てみよう



古代の魚釣り体験



定員は各回30名(編布は10名)です。お一人での参加はもちろん、ご家族連れ、ご友人同士なども大歓迎です。皆さまのご参加をお待ちしています。

- 12月 黒曜石で石器作り
- 1月 土器作り
- 2月 編布(あんぎん)作り
- 3月 弓矢作り

旧石器ハテナ館では、毎月第3日曜日に体験教室を開催しています。体験メニューは月替わりです。その月の1日(1月のみ4日)から、電話または直接来館で受付しています(先着順)。今年度の今後の予定は次の通りです。

**定例体験教室に  
 参加してみませんか？**



## 川原石を知ろう！身近から地球を学ぶ イベント「川原石のふしぎ」



10/7(土)に、小中学生の子どもたちを対象とした、石図鑑作りのイベントを開催しました。前日まで雨が多く、天候と川の増水が心配されましたが、イベント開始時刻には晴れ間がのぞき、ちょうど良い天候となりました。

講師は市立博物館の河尻清和学芸員(地質学)です。参加者の15名の子どもたちとその保護者の方々と、まずはハテナ館近くの川原へ石を採集に行きます。相模川の川原石の種類を講師から教わりながら、熱心にお気に入りの石を探していました。それぞれちょうどいい石が見つかったら、ハテナ館へ戻って図鑑作りです。

最初に講師の説明を受けた後、石の種類を記録しながら空き箱に石を貼り付けていきます。どの参加者も真剣そのもので、個性豊かな世界に一つだけの石図鑑が完成しました。



河尻学芸員と川原で

講師から、川が変われば石も変わることも、川原石は最初からそこにあるわけではないこと、図鑑を作る時にはどこで採集したのかを必ず記録することなどを教わりました。本当に石が好きな参加者が集まった今回のイベント、これからも好奇心旺盛に、川原石について学んでいってほしいと思います。



まずは図鑑のつくりかたをききます

## 秋の文化財ウォーキング 田名の文化財探訪～段丘と湧水の街をめぐる～第2弾

10/21(土)に、秋の文化財探訪が開催されました。案内人は、相模原市文化財調査・普及員の皆様です。今年は、昨年好評を博した田名地区の文化財探訪の第2弾です。

台風接近中の雨模様ということもあり、今年は5名の参加となりました。少人数ならではのアットホームな雰囲気です。探訪は行われました。最初は、田名坂上遺跡周辺から始まり、相模田名民家資料館、八瀬川の源流である大杉の池、かつて田名地区で盛んだった養蚕守護の蚕影神社、烏山藩制札場跡、山王神社、水郷田名地区を一望できる展望台、道路整備以前の地域の生活に大変重要だった火の坂、臨濟宗建長寺派の南光寺、そしてこの日の一番のイベントは、望地キャンプ場の隣に鎮座している、望地弁財天坐像の特別開帳です。通常は元旦と4月1日だけしか公開しておらず、とても貴重な機会です。ふっくらと愛らしい弁財天は、地域の望地自治会と陽原(みなばら)自治会が隔年でお世話をしています。弁財天を拝観した後は、水害で壊されながらも堤防を築き、隧道を引いた先人の苦勞の跡である万平穴と、大堀(望地・当麻用水)を見学しました。最後は、願いがかなうと評判で地域の人々の信仰を集めた、火の坂の下にある、たぬき菩薩を見学して、探訪は終了です。天候には恵まれませんが、充実した探訪となりました。



展望台からの眺め



望地弁財天の特別開帳



南光寺境内にて

## 旧石器ハテナ館 講演会・展示の予定

【講演会】各 14:00~16:00

申込不要、当日直接ご来館ください。(※連続講座は事前申込制、1/4~受付開始。電話もしくは直接来館)

- ・12/2(土) 「相模川流域地帯の古墳時代—人々は気候の寒冷化とどう向き合ったか—」  
講師：北條芳隆氏(東海大学教授)
- ・2/3(土)、2/10(土) 連続講座「(仮)古墳時代の装飾品作り」 講師：小泉玲子氏(昭和女子大学教授)
- ・3/10(土) 「(仮)縄文時代の社会と宗教」 講師：高橋龍三郎氏(早稲田大学教授)

【ミニ展示】開館時間：9:00~17:00 休館日：なし

1/20(土)~3/21(水・祝) 「当麻地区試掘調査成果報告展 “当麻地区を調査したらこんな物を発見しました”」